

事後評価委員会資料


(社会資本総合整備計画)



【新座市オリジナルデザインマンホール】
このタイプは市内に4箇所設置してあります

新座市インフラ整備部下水道課

※計画の変遷

交付金名称	計画名	年度					備考	
		R2	R3	R4	R5	R6		
社会基本整備 総合交付金	新座市における持続的な 快適環境の実現に向けて R2～R6年度	【事業内容】					・R4に高い内示率が期待できる「防災・安全」へ①②④⑤を移行した。 ・ただし、「通常」にも位置づけは残す。	
		①汚水ストック調査						
		②汚水ストック改築						
		③汚水新設工事						
		④雨水ストック計画策定						
防災・安全 交付金 (非重点)	防災のまち新座の実現に むけて(防災・安全) R4～R6年度	【事業内容】					・R4に高い内示率が期待できる「防災・安全」計画を策定した。 R5より⑥を重点へ移行した。	
			①汚水ストック調査					
			②汚水ストック改築					
			④雨水ストック計画策定					
			⑤雨水新設工事					
				⑥雨水重点工事				
防災・安全 交付金 (重点)	防災のまち新座の実現に むけて(防災・安全) (重点計画) R5～6年度	【事業内容】					・R5にさらに高い内示率が期待できる「防災・安全(重点)」へ⑥を移行した。	
						⑥雨水重点工事		

①～⑥に対して、成果を評価します。

計画の概要

・計画の成果目標(定量的指標):

- ①汚水ストックマネジメント計画に基づく調査が必要な管渠のうち、100%を調査実施済みとする。
- ②下水道汚水ストックマネジメント計画に基づく改築の実施によりライフサイクルコストを6.3億円/年縮減する。
- ③下水道処理人口普及率をR6末で、95.7%とする。
- ④雨水ストックマネジメント計画の策定進捗率をR6末で、100%とする。
- ⑤R6末までに実施すべき浸水対策面積の浸水対策達成率を100%とする。
- ⑥新座市雨水管理総合計画に基づく重点対策のうち、柳瀬川右岸第2排水区において、1/7確率の降雨への下水道事業による重点対策達成率を0%から30%(R6)とする。

目標の達成状況①

①汚水ストックマネジメント計画に基づく調査が必要な管渠のうち、100%を調査実施済みとする。

⇒ 調査実施済の管渠延長(150km)／調査が必要が必要な管渠の延長(150km)

※令和2, 3年度：社会資本整備総合交付金（通常）

令和4～6年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）へ移行

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	○

目標達成！

各年度30kmを調査を実施したことにより、5か年で目標達成することができた。

目標の達成状況②

②下水道汚水ストックマネジメント計画に基づく改築の実施によりライフサイクルコストを6.3億円/年縮減する。

⇒ 改築実施済みの管渠延長(0.97km)/改築が必要な管渠の延長(1.5km)

※令和2, 3年度：社会資本整備総合交付金（通常）

令和4～6年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）へ移行

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
0.0%	50.0%	100.0%	65.0%	×

目標未達成！

ストックマネジメント調査結果において、補助金の対象となる管渠がなかったが、市単独費整備を行い、目標延長の65%程の整備となった。

目標の達成状況③

③下水道処理人口普及率をR6末で、95.7%とする。

⇒ 下水道が利用できる人口(162,068人)／行政人口(166,392人)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
95.0%	95.5%	96.0%	97.4%	○

目標達成！

主な整備地として、新座駅北口区画整理地内整備を実施したことより、目標達成した。

目標の達成状況④

スライド⑥

④雨水ストックマネジメント計画の策定進捗率を
R6末で、100%とする。

⇒ 計画策定までに実施済項目(0項目)／計画策定までに実施すべき項目(29項目)

※令和2, 3年度：社会資本整備総合交付金（通常）

令和4～6年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）へ移行

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	×

目標未達成！

他事業との優先度の兼ね合いから

今年度、単独費で策定業務を実施中である。

計画策定の為に、R5,6年度は計画策定のための調査を実施した。

目標の達成状況⑤

⑤R6末までに実施すべき浸水対策面積の
浸水対策達成率を100%とする。

⇒浸水対策完了済み面積(852.4ha)／浸水対策を実施すべき面積(860ha)

※令和2, 3年度：社会資本整備総合交付金（通常）

令和4～6年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）へ移行

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
86.0%	93.0%	100.0%	99.1%	×

目標未達成！

10か年計画に基づき、整備を行ったが、溢水対策として、既設整備済エリアでの対策を実施等により、僅かに達成には至らなかった。

目標の達成状況⑥

⑥新座市雨水管理総合計画に基づく重点対策のうち、柳瀬川右岸第2排水区において、1/7確率の降雨への下水道事業による重点対策達成率を0%(R5)から30%(R6)とする。

⇒重点対策完了済面積(92.715ha)／重点対策を実施すべき面積(309.05ha)

※令和2, 3年度：社会資本整備総合交付金（通常）

令和4年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）へ移行

令和5年～6年度：社会資本整備総合交付金（防災・安全）重点へ移行

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R6末)	実績値	目標の達成
0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	○

目標達成！

工区の割付を変更したことにより、効果の発現には至っていないが、交付金を活用して実施中とし、目標達成できた。

執行状況①～⑤

執行状況調書①

社会資本総合整備計画, 防災・安全

(百万円)

事業箇所	全体事業費(計画) ①	全体事業費(実績)									⑩ 補助金					
		②=③+④		④=⑤+⑥ +⑦+⑧+⑨		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		
		合計	単独 (契約額)	補助 (契約額)	令和2年度 (契約額)	補助 (契約額)	令和3年度 (契約額)	補助 (契約額)	令和4年度 (契約額)	補助 (契約額)		令和5年度 (契約額)	補助 (契約額)	令和6年度 (契約額)	補助 (契約額)	
汚水事業	A07-001	ストックマネジメント事業 調査	200.0	169.7	81.1	88.6	18.5	17.2	19.4	17.1	16.4	38.1				
	A07-002	ストックマネジメント事業 改築	650.0	397.5	397.5	0	0	0	0	0	0	0.0				
	A07-003	柳瀬第6処理分区汚水枝線整備	50.0	151.9	151.9	0	0	0	0	0	0	0.0				
	A07-004	黒目第1処理分区汚水枝線整備	50.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0				
雨水事業	A07-005	ストックマネジメント事業 計画	50	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	A07-006	柳瀬川排水区幹線・枝線整備	930.0	1265.5	40.1	1225.4	629.5	155.7	347.9	92.3	0	330.7				
	A07-007	黒目川排水区幹線・枝線整備	930.0	205.6	103.4	102.2	6.8	46.0	0	49.4	0	31.5				
合計			2,860.0	2,190.2	774.0	1,416.2	654.8	218.9	367.3	158.8	16.4	400.3				

- ①: 整備計画に記載のある計画全体事業費
 ②: ③+④
 ③: 整備計画に記載があり、単独費で施工した箇所
 ④: ⑤+⑥+⑦+⑧+⑨
 ⑤～⑨: 各年度ごとの補助対象事業の最終契約額
 ⑩: 交付を受けた補助金額
 ※いずれも少数第2位で四捨五入した値

内示率や、近年の溢水状況を踏まえて、効率的な工事箇所を選定し整備した結果、上記に示すような執行状況となった。

執行状況⑥

執行状況調書②

社会資本総合整備計画(防災・安全)(重点計画)

(百万円)

事業箇所			全体事業費(計画) ①	全体事業費(実績)					⑦ 補助金
				②=③+④ 合計	③ 単独 (契約額)	④=⑤+⑥ 補助 (契約額)	⑤ 令和5年度 補助 (契約額)	⑥ 令和6年度 補助 (契約額)	
雨水事業	A07-001	柳瀬川排水区管渠整備 雨水管理	170.0	341.3	0	341.3	12.2	329.1	37.3
合計			170.0	341.3	0.0	341.3	12.2	329.1	37.3

①: 整備計画に記載のある計画全体事業費

②: ③+④

③: 整備計画に記載があり、単独費で施工した箇所

④: ⑤+⑥

⑤~⑥: 各年度ごとの補助対象事業の最終契約額

⑦: 交付を受けた補助金額

※いずれも少数第2位で四捨五入した値

雨水管理総合計画に基づき、重点対策地区に位置付けをしたことから、高い内示率となり、優先した整備を執行となった。

今後の下水事業道の方針

スライド①①

雨水事業

- 雨水ストックマネジメント計画策定し、効果的な維持管理に努め、改築更新を着実に実施する。
- 雨水管理総合計画に基づく重点対策地区（柳瀬川排水区）達成率30%～100%を目指す。
- 雨水管理総合計画に基づく重点対策地区（黒目川排水区）達成率0%～100%を目指す。
- 浸水対策達成率を100%を目指す。

汚水事業

- 汚水ストックマネジメント計画に基づき、効果的な維持管理に努め、改築更新を着実に実施する。